

## 防災について

**Q** 今年度から、防災危機管理監が不在となっているが、今後、防災に対する対策をどのように進めていく予定か。

**A** 災害発生時には、迅速・的確な行動がとれるよう、防災訓練を通して、職員一人ひとりの意識付けを今後も行っていきます。

**Q** 町内に防災行政無線はどのくらいあるのか。

**A** 親機のほかに、子局が46局あります。



**Q** 職員研修は年間どのくらい実施しているのか。

**A** 内部研修は、25項目延べ403人、茨城県自治研修所で実施している外部研修は、21項目延べ41人の職員が参加をしました。

**Q** 子ども・子育て会議の委員や内容は。

**A** 昨年、町が策定したこども計画に基づく会議で、福祉関係者や教育関係者等で組織されています。

**Q** 毎月、広報紙を2,600部発行しているが、どこに配布をしているのか。

**A** 行政区を通して1,526世帯に配布をしています。その他、公共施設やコンビニ等の施設に832部、残りの242部は、役場で管理をし、不足したら補充をしています。



## ふるさと応援寄附金事業について

**Q** 返礼品の主力である米の状況は。

**A** 昨年からお米の需要が高まり、それに伴い寄附金額も増えている状況です。令和7年度産ブレンド米、ブランド米とも既に受付を開始し、在庫切れを起こさないよう対応していきます。

**Q** 口座振替手数料とは。

**A** 寄附者がふるさと納税を決済するためのクレジットカードや電子決済による事務手数料です。

**Q** 今年度のふるさと納税の目標額は。

**A** 令和6年度は、7億2,278万円の寄附をいただきました。令和7年度は、10億円を目標にしており、現時点では、各月の目標額は概ね達成できているところです。



**Q** 出産祝い金として、5万円を支給しているが、令和6年度の出生数は。

**A** 令和6年度は、17人の方に支給をしました。

**Q** シン・いばらきメシ総選挙2024でグランプリを受賞したが、今後の開催はあるのか。

**A** 2026年の秋に開催予定です。地域おこし協力隊を中心に、新商品の開発に取り組んでいきます。

